

当館の展示・収蔵資料が語る

「やるじゃん！三次」

太古から昭和初め頃までの三次の歴史を
ダイジェストで御紹介！

中国山地の山間で、先進的に歴史を刻ん
できた三次の歩みが一目瞭然です。



みよし風土記の丘ミュージアム

〒729-6216 三次市小田幸町 122
TEL : 0824-66-2881 FAX : 0824-66-3106

弥生時代

「三次の王」が誕生した！

特殊器台・特殊壺 (史跡矢谷古墳(墳丘墓)出土)

弥生時代の終わりに三次を治
めていた王の墓から見つかりま
した。特殊器台と特殊壺は古墳
時代の埴輪の祖型となったもの
で、大和政権誕生のカギを握る
貴重な資料として、国の重要文
化財に指定されています。



③

室町時代

神仏に祈って乱世を生き延びた！

木造阿弥陀如来坐像 (熊野神社蔵・当館寄託)

戦国時代に三吉氏が若一王
子権現 (現在の熊野神社) へ寄
進した仏像で、広島県重要文化
財に指定されています。神仏の
加護を期待する武士の姿や、神
を仏の権化とする当時の宗教
観を伝える資料です。



⑥

旧石器時代

氷河期の狩人が躍動した！

ナイフ形石器 (下本谷遺跡出土)

硬い流紋岩を打ち欠いて作
った30,000～35,000年前の
石器で、やり先としてナラマツゾ
ウなどの狩猟に使われました。
三次の歴史のあけぼのを伝え
る重要な石器です。



①

古墳時代

爆発的に人口が増えた！

史跡 浄楽寺・七ツ塚古墳群 (みよし風土記の丘)

三次には、県内の3分の1
に当たる、4,000基近くの
古墳が集中しています。5世
紀を中心に密集して古墳が
造られた当古墳群はその象
徴で、この頃に人口が急増
したことが分かります。



④

江戸時代

三次発 日本一有名な妖怪物語が登場した！

稲生物怪録絵巻 「稲事物怪録」

16歳の稲生平太郎が、
毎夜襲いかかる怪奇現
象を乗り切った物語を描
く、江戸時代の絵巻物で
す。この物語は備後三次
の妖怪物語として全国各
地に広まりました。



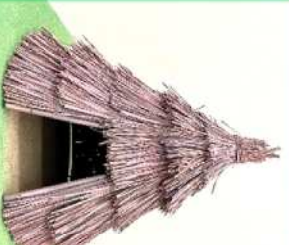
⑦

縄文時代

家を立てて暮らし始めた！

竪穴住居復原模型 (松ヶ迫遺跡群)

遺跡から発掘された、約
9,000年前(縄文時代早
期)の住居跡を復原したも
のです。県内最古の竪穴住
居跡で、三次に人々が定住
し始めたことを示す貴重な
建物跡です。



②

奈良時代

先進的な文化が花開いた！

唐三彩 長頸壺

(史跡寺町鹿寺跡出土・三次市教育委員会蔵)

最盛期の唐で生産された
舶来の長頸壺で、国家的祭
祀が行われた福岡県沖ノ島
遺跡に次ぎ、全国で2例目の
特殊な品です。古代の三次
が先進的で特別な地域だっ
たことを示す証拠です。



⑤

明治～昭和時代

陰陽を結ぶ川舟が活躍した！

江の川の水運

日本海へ流れる江の川
とその流域河川では昭和
初年まで川舟が往来し、
舟運は物流の基幹産業と
なっていました。近代以前
の三次の発展は江の川
の賜物といえます。



個人提供

⑧